

	音 楽 研 究 会				部 会 記 録	
日時	平成３０年 ９月 ５日（水） １５：３０～１６：４５					
部会名	研修部 管楽器部会				主任	田中 亜由美
参加数	５名	司会	田中 亜由美		記録	田中 亜由美
研 修 内 容	研修会「バンド活動のまとめ」 提案：横浜市立中田小学校 内野 征治 先生					
	全国レベルを誇る中田小学校マーチングバンドの、年度末の活動のようす、バンド活動のまとめとしてどのような活動をしているのかを見学した。週末行われる地域のコンサートで発表する新作ドリル練習の様子を見学したのち、参加者の先生方で協議会を行った。					
	<活動のようす> 体育館でのドリル練習を見学した。３月末の地域行事で発表する新曲のドリルで、オープニングから中盤までの流れを繰り返し練習していた。まだ曲を覚えきれていない後輩に六年生が動きやリズムを教えたり、曲中に率先して感覚の調整などを行っていたりする姿が見られた。					
	<研究協議会> ○中田小学校の顧問の先生方より ・地域が応援してくれていて、地域行事などへの参加が多い。卒業生は楽器を続けている子が多い。 ・年度末はほとんど毎週末発表の機会がある。発表曲のうち半分ほどは新曲を演奏するため、子どもたちもほとんど休みがない中頑張っている。年度末の業務もあり、正直体力的にきついときがあるが、連携して指導にあたっている。地域の方に喜んでもらえるとうやはり嬉しいので、それを励みにしている。 ・今は２年生の体験入部も行っている。４月から正式に入部が決定し、新体制での練習が始まる。 ○部員の先生方より ・先輩の面倒見がよい。トロンボーンパートの児童が外で個人練習をしていたが、代わる代わるようすを見に行き、アドバイスをしていた。 ・新曲も多く、いそがしそうだが、切羽詰まった雰囲気があまりない。和やかに練習しているように思う。日頃の練習を積み重ねた成果である高い技術力や、自信があるからでは。 ・働き方改革が進む中、通常業務とマーチング指導の兼ね合いが難しくなっているのを感じる。無くすのではなく、どうにか両立していく動きにできないか。					